

令和4年度大学院入学試験事前課題  
(中期募集)

教育実践高度化専攻

教科教育・教科複合実践研究コース

(芸術創造領域 音楽分野)

注 意 事 項

- 1 問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙に記入すること。
- 2 出願時に選択した1科目を解答すること。
- 3 解答用紙には、選択した科目名を所定の欄に記入すること。
- 4 解答用紙には、受験番号を所定の欄に必ず記入すること。
- 5 解答用紙のみ返送すること。なお、問題用紙は回収しない。

## 問題

出願時に選択した1科目を、1000～1200字で解答すること。

### ◎ 音楽教育学

『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編』の「第1章 総説」「1 改訂の経緯及び基本方針」「（2）改訂の基本方針」では、「③『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善の推進」の留意事項の1つに、「ウ 各教科等において通常行われている学習活動（言語活動，観察・実験，問題解決的な学習）の質を向上させることを主眼とするものであること。」とある。

音楽科の授業で上記の留意事項を反映するには、どういった授業改善の場面が考えられるか。指導事例とともにあなたの考えを述べなさい。なお、校種は小学校に限定しなくてもよい。

### ◎ 声楽

合唱の指導をする場合に、あなたはこういった手順で指導を行うか。手順と指導のポイントを関連させて書きなさい。

### ◎ 器楽

学校現場が抱えている、器楽に関する課題を2点、具体例とともに挙げなさい。また、それらの課題に対する解決策について、あなたの考えを述べなさい。

### ◎ 作曲

音楽づくりの活動の中では、音楽づくりの知識や技能を得たり生かしたりしながら活動をしていくが、「知識や技能を得たり生かしたりする」とはどのような過程なのか、また何に注意すべきかについて考えを述べなさい。

### ◎ 音楽学

『小学校学習指導要領（平成29年告示）』の「第2章 各教科」「第6節 音楽」「第2各学年の目標及び内容」では、鑑賞教材で取り扱うべきものとして、「和楽器の音楽を含めた我が国の音楽や諸外国の音楽など文化との関わりを捉えやすい音楽，人々に長く親しまれている音楽など，いろいろな種類の曲」が示されている（〔第5学年及び第6学年〕「3内容の取扱い」(3)ア）。

「我が国の音楽や諸外国の音楽」において捉えられる「文化との関わり」とは、例えばどのようなものか。あなたの考えを述べなさい。また、それを学校の授業でどのように伝えればよいか。具体的なアイデアとともに論じなさい。なお、校種は小学校に限定しなくてもよい。